

会員会社紹介

株式会社フジクラ

光ケーブルシステム事業部 ソリューション営業技術部
久保 隆之



フジクラの歴史は、1885年に藤倉善八が絹・棉巻線の製造に乗り出した時に始まります。善八は、1883年に日本橋通りで公開されたアーク燈の点燈を見て電気に興味を抱き、「電気の時代」が到来することを予感しました。その頃善八は、神田淡路町で、組紐事業で繁盛をしており、その組紐が電線被覆の編組技術に似ていることから、電線事業に乗り出しました。

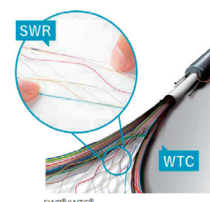
その後、電線、ケーブルの研究、開発、製造で培ってきたつなぐテクノロジーを通じて、エネルギー、情報通信、エレクトロニクス、自動車電装の4つの事業分野で信頼性の高い製品、サービスをお客様にお届けし、わが国ならびに世界中の国や地域の発展に寄与してまいりました。

電線・ケーブルの製造販売で130年を超える歴史を持ち、電力線路システムと通信線路システムの領域に確固たる技術基盤を確立してきました。情報通信分野では、1980年代に電線に変わって主流となった光ファイバとその周辺製品の研究開発において常に最先端の技術を開拓し、世界のトップレベルの技術を維持してきました。より速く、高品質で大容量なネットワークを支える光ファイバの開発・製造技術でフジクラは常に世界トップレベルを走り続けています。その光ファイバを高密度に収納、かつ細径構造を実現する光ケーブル（SWR[®]/WTC[®]）を世界に先駆けて開発しました。さらに、低損失で接続する光ファイバ融着接続機は、“世界NO.1”であり、光ネットワークの基盤を築くトータルソリューションを提供していきます。

高密度・細径構造の光ケーブル（SWR[®]/WTC[®]）の特徴

より細く
太さ **0.83** 倍
従来のケーブルと比較して
WTC[®]の太さは0.83倍
(1000心ケーブルにて)

より軽く
重さ **0.6** 倍
従来のケーブルと比較して
WTC[®]の重さは0.6倍
(1000心ケーブルにて)



注力製品 1

光ファイバ融着接続機と周辺工具

Bluetooth[®]を介した連携により、光ファイバ口出し作業の効率が上がり、現場での作業性が飛躍的に向上しました。

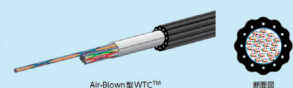


注力製品 2

Air-Blown[®]型 WTC[™]

空圧圧送工法による管路内への敷設に対応した光ケーブル（SWR[®]/WTC[®]）を開発しました。

※ 主に欧州で採用されている空圧圧送による管路内へのケーブル敷設工法。



今後とも関連する TTC 活動を通じて標準化に積極的に参画することで、市場拡大に貢献していきたいと考えております。